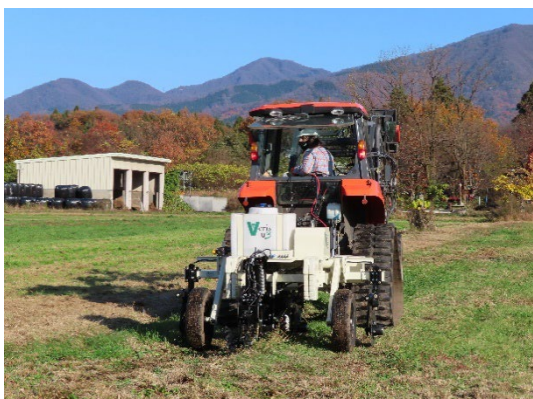


農業用 DX 機器（土壌分析装置、無人仕様トラクタなど）の見学会を開催しました



本学農学部は、文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業 DX をけん引する高度専門人材育成事業」の採択を受け導入した土壌分析装置、無人仕様トラクタなどの農業用 DX 機器の見学会を 2022 年 11 月 25 日（金）、五泉市石曾根にある附属フィールド科学教育研究センター村松ステーションにおいて開催し、学生、産業界、行政機関、農業 DX 関係者など約 70 人が参加しました。

当日は、日本海側の 11 月末にも関わらず、快晴に恵まれました。

農学部の長谷川英夫教授の事業説明から始まり、無人トラクタ、日本に 1 台しかない土壌分析装置、リモコンラップマシン、ドローンの各説明と実走が村松ステーションの圃場で行われました。



その後、村松ステーションの講義室にて、新潟大学に期待することや要望など、意見交換が行われました。



見学会にていただいたご意見を参考にしながら、農業 DX に係る人材育成プログラムの深化を図るとともに、産業界や行政機関と連携して、地方企業に必要とされているデータサイエンスの知識・技能やデジタル・スキルを有する高度農業人材を育成することとしています。

本件に関するお問い合わせ先

農学部附属フィールド科学教育研究センター

村松ステーション

電話 0250-58-5737